

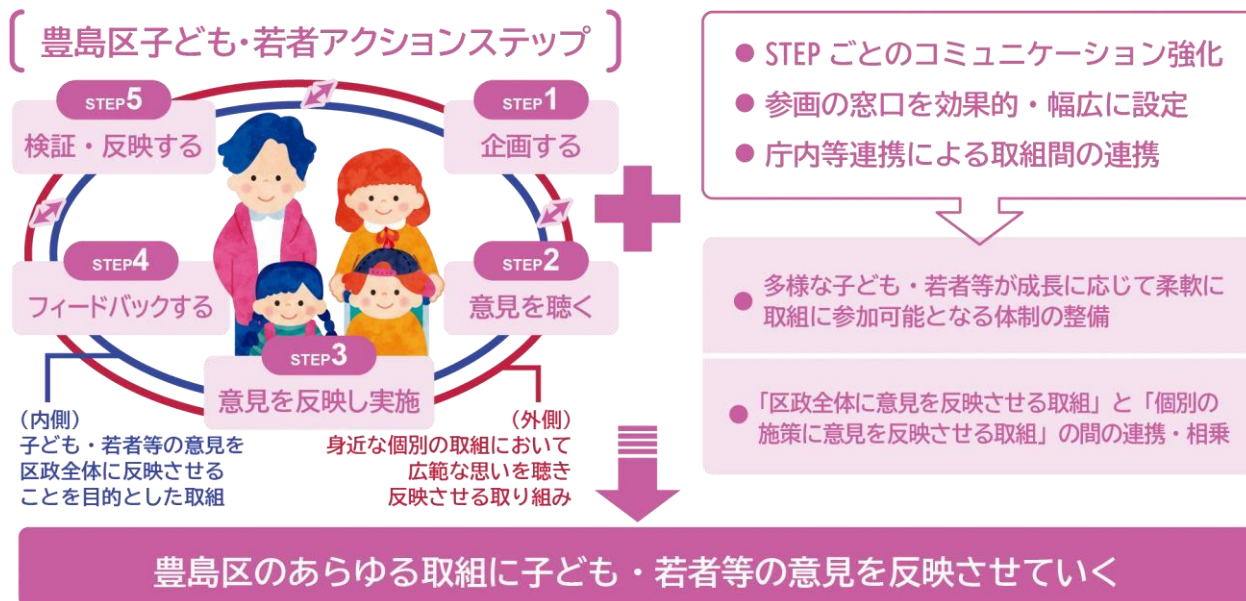
第5章

計画の
推進に向けて

【 1 】 「豊島区子ども・若者アクションステップ」に基づく計画の推進

豊島区は、計画の実現に向け、これまでの「PDCAサイクル」に基づく検証から、「子ども・若者等の意見聴取・反映」のステップを盛り込んだ「豊島区子ども・若者アクションステップ」による計画の推進により、区のあらゆる取組に子ども・若者等の意見を反映していきます。

また、それらの進捗等は、区のホームページ等を通じて広く公表していきます。



【 2 】 子ども・若者等の意見の反映

豊島区では、子どもの権利保障として、これまでも子ども等の意見を反映させるための取組を進めてきました。例えば、「子どもレター」や「子ども会議」等、子ども・若者等の意見を区政全体に反映させることを目的とした取組とともに、「児童施設運営事業」での利用者会議の開催といった、子ども・若者等にとって、より身近な日常生活の場で展開される個別の取組においても、広範な子ども・若者等の思いを聴き、反映させる取組を進めてきました。

これら豊島区が積み重ねてきた取組を大切にしながら、さらに、子ども・若者等の意見が施策へと反映させられるように取組を推進していきます。

具体的には、「子ども・若者等の意見を区政全体に反映させる取組」と「個別の施策に意見を反映させる取組」のそれぞれについて、取り組みを充実させていきます。各施策等において、子ども・若者等の意見を受け止め、ともに方針の決定や具体策の構築を進めていくため、取組においては、「企画する」、「意見を聴く」、「意見を反映する」、「フィードバックする」、「検証する」といった段階ごとに、コミュニケーションを丁寧に積み重ねていくとともに、参画の窓口を効果的かつ幅広に用意することで、多様な子ども・若者等が成長等に応じて参画の度合いや手法を選択できるよう柔軟に取り組みを進めていきます。

また、庁内連携を強化し、「区政全体に意見を反映させる取組」と「個別の施策に意見を反映させる取組」の間の連携・相乗効果により、区政全体での意見反映をさらに進めてまいります。

こうした取組により、豊島区のあらゆる取組に、子ども・若者等の意見を反映させていきます。

【 3 】 計画の検証

1 計画全体の検証について

本計画全体については、庁内関係部署で組織する「子どもの施策調整会議」や、区民や地域団体等の幅広い関係者で構成される「青少年問題協議会」において、事業目標の達成状況や子ども・若者の意見等、定量的・定性的なデータをエビデンスとして、第3章の重点事業の目標達成状況を中心に点検・評価を行います。区は点検・評価結果を踏まえ、施策の改善につなげていきます。

2 「子ども・子育て支援事業計画」(第4章)の検証について

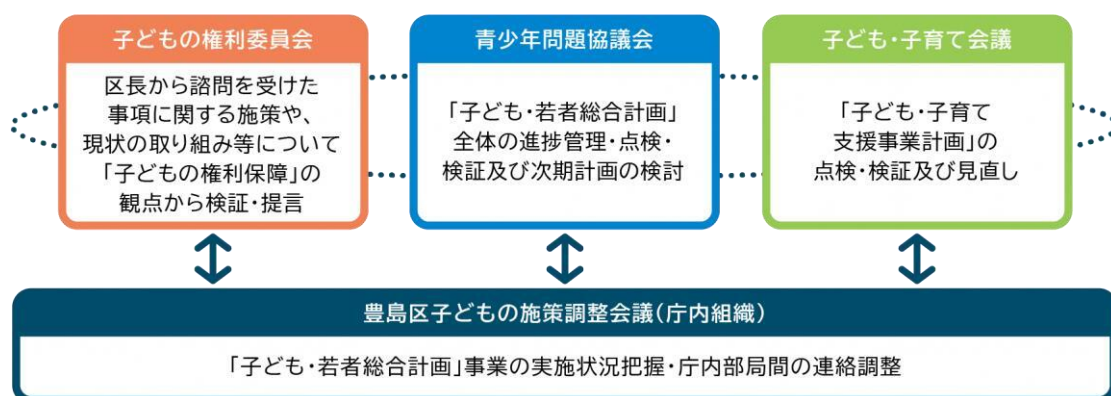
「子ども・子育て支援事業計画」(第4章)については、年度ごとに区が実施状況をまとめ、「子ども・子育て会議」が目標の達成状況などについて点検・評価を行います。点検・評価の内容を踏まえ、必要に応じて計画中間期に見直しを行います。

3 子どもの権利の観点からの施策の検証・推進

本計画は、目標達成状況の点検・評価に加え、「子どもの権利委員会」が子どもの権利保障の観点から検証を行います。検証の結果をもとに施策の改善策などについて審議し、区へ提言を行います。区は提言の内容を踏まえて施策の推進や改善を図ります。

また、各部局においては、それぞれの取組が計画の目標実現のためであることを理解したうえで事業を推進するとともに、様々な取組を子どもの権利の普及啓発の機会と捉え、子どもの権利保障の推進を図ります。

計画の推進体制(三審議会による計画の推進)



【 4 】 計画の広報

計画の対象である子ども・若者や妊娠期の方、子育て家庭及び、子ども・若者に関わる方々に、計画の内容をわかりやすくお知らせします。そのために、子ども版や概要版の作成等により、対象者に合わせた広報ツールを活用しながら、効果的な手法を検討していきます。

また、アンケート調査や意見交換会といった広聴と併せた広報を通じて、子ども・若者等の意見の反映の取り組みへと繋げていくとともに、計画の改善や調整を図っていきます。計画の進行状況や成果について定期的にフィードバックしていくことで、計画の理念や考え方を地域全体で共有し、地域一体となって計画の推進を図ります。

【 5 】 地域ネットワークの構築、関係機関との連携強化

子ども・若者の権利が保障されながら成長していけるまちづくりを実現していくには、行政施策のみならず、地域全体の協働による共創が必要です。令和3年7月には、区民や企業など「オールとしま」によるSDGs推進の取組として「としま子ども若者応援プロジェクト」が始動しました。また、区の組織を横断して民間支援団体と連携し、定期的に意見交換を行うことで顔の見える関係性を構築する「居場所会議」や、10代から20代の女性支援を行う「すずらんスマイルプロジェクト」等、新たな取組も進んでいます。豊島区では、区民やNPO法人、地域団体、子育て支援グループ、企業等による主体的な活動が活発に展開されています。引き続き、そうした活動への支援を継続するとともに、協働・連携の仕組みづくりや、自助・共助・公助のネットワーク構築に取り組めます。

また、多岐にわたる子ども・若者や家庭を取り巻く諸状況に的確に対応し、総合的かつ効果的な施策の推進を図っていくため、国、東京都、近隣の自治体、地域の大学、社会福祉協議会、事業者、子ども・若者に関する施設など関係機関との連携を強化していきます。